



英語で自己紹介する矢巾北中学校2年の佐々木結香さん

10月19日、矢巾町国際交流協会（木村毅会長）は友好都市であるアメリカ合衆国ミネソタ州フリモント町に派遣する派遣団の結団式をやはばくで行いました。結団式では、派遣期間中に発表するプレゼンテーションの一部を矢巾北中学校2年の佐々木結香さんが英語で披露しました。高橋町長は「この派遣でたくさんの方の力を吸収して、世界で活躍できる人材になってほしい」と激励の言葉を述べました。派遣団は10月24日から12日間、フリモント町でホームステイや日本文化の紹介を行います。この交流事業は国際化社会に対応した個性豊かな人材育成を目的に実施。

国際社会に対応する人材育成 フリモント町派遣団結団式

まちの話題 あれこれ

身の回りに起きた出来事など、
楽しい情報をお寄せください。
役場企画財政課
(☎ 611-2724)



今年の派遣団の団員12人と高橋町長(前列左から3番目)



一升のお餅を背負ってゴールを目指す一歳児



約3万個のお餅が振る舞われた「日本一の餅まき」

10月14日、15日に「矢巾町秋まつり」が役場南側駐車場特設会場を中心に開催され、町内外から約2万1千人が来場しました。会場内では、農産物品評会に出品されたりんごや野菜などの販売や会場内を回るスタンプラリーが行われました。14日はSWANKY DOGSのライブパフォーマンスで会場は大盛り上がり。15日は一升餅歩行大会が行われ、一歳児たちは家族の声援を受けながら初めての試練に挑戦しました。まつりの最後は、18俵（約3万個）のお餅を皆さんに振る舞い、大勢の参加者が秋まつりにぎわいを楽しみました。

今年も開催「日本一の餅まき」 大にぎわいの矢巾町秋まつり

ニュースフラッシュ
NewsFLASH



3 地区に分かれて開催した町敬老会

矢巾町敬老会が9月16日から不動・煙山・徳田の3地区に分かれて開催され、計470人が出席。高橋町長が米寿を迎えた参加者に記念品を贈り、各会場ごとに郷土芸能など楽しみ、末永い長寿と健康を祝いました。



ピヨピヨキャラバン隊が訪問

9月26日、ふどうこども園(田口和子園長)年長児25人による「ピヨピヨキャラバン隊」が役場や紫波警察署などを訪問。元気いっぱいの大きな声で交通安全を呼びかけ、手作りの交通安全のお守りを手渡しました。



(株)シリウスが全児童に図書を寄贈

住宅メーカーの株式会社シリウス(盛岡市、佐藤幸夫代表取締役)が10月6日、町内4小学校全児童分として図書1,470冊を寄贈。

佐藤社長は「贈った本を読んで、心の成長の糧にしてほしい」と願っていました。



ルワンダ国の給水事情について語る
水衛生公社の職員

ルワンダ水衛生公社の職員4人がルワンダ国の給水事業を強化するために日本各地を視察。9月15日に役場上下水道課で取り組んでいる「水道サポーターワークショップ」を体験しました。

ワークショップを体験した同公社のマリ・シヨゼ・ムカニヤムアサ局長は「ワークショップでの議論はとても興味深かった。この体験を持ち帰り、ルワンダ国の給水事業を住民とともに考えていくために役立てたい」と話しました。

これは、JICA(国際協力機構)がルワンダ国の給水事業を強化するために日本の先進地を視察研修するプロジェクトです。

ルワンダの給水事業発展のために
水道ワークショップで議論



握手を交わす高橋理事長(写真左)と高橋町長

一般社団法人矢巾地域まちづくりコンソーシアム(高橋憲康理事長)と町は9月15日「地方創生の推進に関する包括的連携協定」を締結しました。

同法人は、民間の立場で町内で起業したい方の中間支援を行う「まちづくり会社」。起業支援の窓口やセミナーの開催、学生と企業のマッチングなどの事業でまちづくりに取り組みます。高橋理事長は「仕事づくりを軸に人と人の出会いが生まれて矢巾が活性化する事業を展開したい」と話しました。

今後は、だれでも気軽に立ち寄ることができる拠点づくりに努めます。

仕事の創出で町づくりを推進
まちづくり会社と協定を締結